



未来を創造する

# 上永谷中学校だより

2023.10.13発行

横浜市立上永谷中学校

校長 澤柳 寛



## 令和5年度分期式に寄せて

校長 澤柳 寛

いつもあいさつをしてくれる皆さん、本当にありがとうございます。いつも元気もらっています。今日はこのように体育館で、皆さんと一堂に介することがとても嬉しいです。前期を締めくくり、後期を迎えるにあたって、2つお話をします。

1つ目は学校教育目標「未来を創造する」についてです。皆さんの目標は、しっかり自分のものとして息づいていますか？ 一人ひとりの思いや願いは、学校生活でどのように生かされ、発揮されていますか？ ぜひ、この視点から前期を振り返り、後期の目標をしっかりと立ててほしいと思っています。上中での学校生活は、「未来を創造する」力が皆さんに育まれるように実践されています。皆さんの「志」が、日常生活の中で確実に実践されることを期待しています。

2つ目は、上中で育む三つの資質・能力…すなわち「言語能力」「コミュニケーション能力」「課題解決能力」についてです。この三つの力について、皆さんは今、どのくらいの力が身に付いていますか？ これらは教科の授業をはじめ、行事、委員会活動や係活動など、日々の様々な学校生活の場面で育まれたり生かされたりしているものです。これから受け取る連絡票の、各観点のアルファベットや成績の数字、総合的な学習の時間の所見はもちろん大切ですが、この3つの力について振り返り、後期の学校生活の目標の糧にしてみましょう。



## 上中プロジェクト 2023～逃走中

9月12日(火)。まだまだ暑い日でした。今年度はTV番組でとりあげられている「逃走中」を、上永谷中版にアレンジしたものに取り組みました。普段と違って、学校中がウキウキとしたカラーに変わり、生徒の皆さんはもちろん、黄色いビブスとサングラスを身に着けた、ハンター役の先生方も「キツイ！」とつぶやきながらもとても楽しそうに動き回っていました。今回の上中プロジェクトは、クラスに出題されるクイズを解いてヒントをもらい、宝探しに行く流れなのですが、宝探しに行くとハンター(先生)が待ち構えていて、学校中で先生が生徒を追う光景が展開されていきました(昭和世代の筆者としては違った意味でとても懐かしい…)。捕まった生徒は体育館で待機します。クイズは約5分おきに更新され、次々に捕まる生徒たちが出てきます。校舎やグラウンドのあちこちで歓声や笑いが起こっていました。



この日を迎えるために、生徒会本部役員の皆さんが、夏休み前から一生懸命準備をしてくれました。クイズを考えたり、ヒントの書かれた紙を用意したり、動画を作成したり「お宝」を隠したり…直前の昼休みギリギリまで準備に奔走していました。楽しい場を提供してもらいました。本当にありがとうございました。

## 救急救命講習会



9月14日(木)、2年生全員を対象に行われました。港南区消防署上永谷出張所から20余名の署員の方にお越しいただき、心肺蘇生法を学習しました。映像資料で基礎的な知識を学んだ後、体育館に集合して実践します。人形の胸の「胸骨」に見立てた部分を一定の速さ(100~120/分)で圧迫します。いわゆる“マーチ”(行進曲)の速さですが、慣れないとなかなかうまく刻めません。グループの側にはメトロノームが置いてあって、あちらこちらから、ピッ!ピッ!という電子音が鳴り続けています。その音に合わせて腕に体重を乗せながら押下します。予想以上に体力を消耗します。

AEDの装着や操作方法も学びました。AEDは心臓が心室細動を起こしてしまったとき(痙攣や震盪等で)、電気ショックを与えることで正常な動きを取り戻すための装置です。コンピュータ制御されているので、医療に従事していない人



でも音声案内に従って使用することができます。上永谷中には、校内に2台のAEDが設置されていますが、場所はどこでしょうか? 一つは職員室そばの相談室入口のところ、もう一つが体育館入口に設置されています。いつ必要になるか分かりません。しっかり覚えておきましょう。